

青春を駆け抜ける

学校法人石川高等学校3年生の宗像聖さん（永田）と熊谷萌さん（下北方）にインタビューしました。2人は昨年10月に行われた福島県高校駅伝に出場し、宗像さんはアンカーを、熊谷さんは4区を務め、区間賞と夢の全国大会への切符を手にしました。

12月に京都で行われた全国大会で宗像さんは残念ながら走ることはできませんでしたが、学法石川が8年連続10度目の出場と全国3位となった立役者であり、熊谷さんは2区で9人抜きにより順位を大きく上げる健闘の走りを見せてくれました。

▼高校駅伝で活躍した宗像聖さん、熊谷萌さん



▲3年前、子ども議会に参加していました。

Q1 走り始めたきっかけは？

A（宗像）中学校の頃。もともと短距離だったが、先輩の走る姿を見て。
（熊谷）4、5歳の頃、走る兄の姿を見て。母と一緒にマラソン大会に出た。

Q2 走っている時、何を考えているの？

A（宗像）特に考えていない。並走する選手がいる時は、息遣いなど様子を伺う。
または、沿道で応援している人達を見ながら走る。
（熊谷）特に考えていない。追う立場の時は、前を見てただひたすら走る。

Q3 県大会、全国大会に出場しての感想

A（宗像）県大会は連覇のプレッシャーがあったが、自分の走りができた。1週間前にけがをして全国大会に出られず悔しかった。
（熊谷）全国大会は目標だった。調子は良かったが、目標タイムに届かず悔しかった。

Q4 高校3年間の思いでは？

A（宗像）部活。入部当初、走りについて行けず女子チームと練習。全国で活躍している先輩達に追いつこうと練習してきたことが思い出。インターハイ出場が、自分の中で大きかった。
（熊谷）部活。スポーツ推薦の人が多く、憧れだけで入ってしまい全然練習について行けずやめようと思ったことも。松田監督の言葉に励まされ、県・東北・全国大会で走ることができたことが思い出。

Q5 今までで一番苦しかったレースは？ 思いでのレースは？

A（宗像）昨年6月の県大会3,000m障害決勝。全国大会出場に繋がった東北大会。
（熊谷）向かい風のなか走った昨年の県大会。自己ベストを更新した昨年12月の日体大記録会。

Q6 高校卒業後の進路は？

A（宗像）大学に進学。そこで箱根駅伝を目指す。
（熊谷）大学に進学。陸上は終止符。留学も経て、外国人と関わる仕事に就きたい。

次回3月6日(水) 議会定例会開催予定

議会は村の予算や身近な問題について話し合う大切な会議です。あなたも議会を傍聴してみませんか？

●詳しくは議会事務局まで ☎55-3558



編集後記

平成最後の正月も過ぎ、早一か月が過ぎようとしています。5月には平成に幕が下り、新しい時代を迎えますが、新元号は何になるかが楽しみです。今年は「亥年」で、村長選、参議院選、県議選と選挙の年です。また、10月からは消費税が10パーセントに増税予定です。激動の一年になりそうな感じがします。

皆様の夢、希望を「猪突猛進」で成就してください。ご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

永瀬 成元

議会広報特別委員会

委員長	高橋 七重
委員	久保木 一源
委員	佐藤 清一
委員	太田 実
委員	永瀬 成元